

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18012	1	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	認知科学 (Cognitive Science)				
担当教員名	佐川 賢				
授業の概要及び到達目標					
<p>認知科学は人間が物を見たり、聞いたり。話したり、記憶したり、推理したりするときどのようなメカニズム働いているかをとらえ、人間の「知」と「心」の仕組みを解明する学問である。認知という心の働きを理解を深め、人の行動の認知プロセスを学ぶ。人の行動には心が伴う。医療の場、看護の場、家の中での認知科学について例を示し、ともに考える。わかりやすさ、使いやすさを考え、人間行動の理解やなぜエラーが起きるのかなど考える。高齢者・障害者への配慮についても考える。</p> <p>以上の内容を認知科学のさまざまなトピックスを含めて、学んでいく。</p>					
準備学習等					
<p>本授業は15時間で1単位の授業である。各回の教室授業は、2時間分の授業を行う。新聞、テレビなどのニュース、関連する書物、ウェブサイト、等に関心を持ち、特にヒューマンエラーなどについてその原因、なぜ事故になったかなどを調べておくこと。</p> <p>具体的には以下のことについて関心を持ち、関連する資料を調べておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知科学とは何か 2. 人間の感覚情報（視覚、聴覚、触覚）のしくみ 3. 人間の注意、記憶、学習などのしくみ 4. 認知的デザイン、アフォーダンスとは何か 5. ヒューマンエラーとは何か、その起きやすさ、防止策、など 6. 高齢者・障害者配慮の製品、環境、サービスのデザイン手法（ユニバーサルデザイン、アクセシブルデザイン、インクルーシブデザイン、等）の概念と手法 					
成績評価の方法	主として期末レポートで評価する。 期末レポート80%、毎回授業後に提出する小レポート20%で総合評価する				
テキスト	授業時プリントを配布する。				

参考図書	1) 基礎から学ぶ認知心理学 人間の認識の不思議 服部勇雅史, 小島治幸, 北神慎司 著 有斐閣ストゥディア 2) 医療におけるヒューマンエラー 河野龍太郎 著 医学書院
備考	・オフィスアワー 授業終了後教室で質問の時間を設ける ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
第1回： 認知科学の概要 第2回： 視覚の情報処理（1） 第3回： 視覚の情報処理（2） 第4回： 聴覚，触覚の情報処理 第5回： 認知過程の情報処理 第6回： 認知的デザイン 第7回： ヒューマンエラー 第8回： アクセシブルデザイン	認知科学とは何か、その考え方と領域 視覚のしくみ、色と明るさ、色弱、等 視力，視野 等 聴覚，触覚のしくみと特徴 注意・記憶・学習のしくみ 使いやすさ、アフォーダンス、等 ヒューマンエラーの起こり方と防止 高齢者・障害者のための配慮デザイン
なお、授業の内容は、進捗度・理解度等により変更する場合もある。 授業は PowerPoint を使用したプレゼンテーションで進める。	